



## 市教委・新しい支援教育方針 6時間に及ぶ保護者説明会、相次ぐ疑問や批判

市教委は、新しい支援教育方針について、6/28、7/2の2回にわたり説明会を開催。市教委ホームページにその説明資料とともに、保護者からの質疑応答を公表しています。

中には、保護者からの質問や意見が相次ぎ、予定の時間をオーバーして、6時間にも及ぶこともあり、その後も保護者からの質問や意見が続いています。

### 保護者「けっして納得して納得して選んでいるのではない」

保護者からすると、「よく分からないままで7月の懇談で来年から支援学級か通級か決めなければならないのか?」「支援学級の子どもたちが、他の子どもたちと過ごす時間が少なくなるのは納得できない」と不満や批判が強く出されていることが大きな特徴です。

子どもにとって大きな学習、生活環境の変化を迫られる選択を6月に聞いて7月に聞かれることそのものが大きな不安となっていることは当然の思いと言えます。

保護者は、懇談の中で、今度の「学びの場」についての意向を言わざるを得ません。しかし、保護者の間からは「私たちは決して納得して、選んでいるのではない」という声も出ています。

### 見通せない施策・制度のまま選択を迫ることが問題に

この間の市教委の説明や、保護者への答えの中で、

「制度設計が出来ていない段階で(方針を)お示しをさせていただいた所、様々な不安の声をいただいた」

「通級指導教室も全校設置させていただいて..というお手紙をあらためて6月に出させていただいた」という説明が行われています。

見通せない施策や制度を示されて、選択を迫られることへの保護者の戸惑いや反対の強さになっていることは明らかです。

「通級指導教室は13人で1学級の基準というが、15人、20人なら2学級、3学級設置されるのか」

「国、府の通級設置は来年3月に分かるが、不足分を市で募集して間に合うのか」

「指導経験のない通級指導教室を誰か担当できるのか」

「特別支援教育支援員は、一体どのような人が配置され、どれほどの支援が得られるのか」

保護者のみならず、学校現場にも納得できるものが示されないまま、懇談で対応せざるを得ませんでした。

### 文科省も整備途上の「通級指導教室」、「指導員」

通級指導教室は1993年に法令化されたものの、制度化は不十分で、2017年にやっと義務標準法で13人に1人の教員配置の基準は設けられたものの、「10年かけて基礎定数にしていく」、整備途上の仕組みです。

今年7月の文科省の「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議」などで、「設置や運用に自治体ごとのばらつきが大きい」、「専門性のある先生が十分に育っていない」点も指摘されています。

「特別支援教育支援員」も、支援の中身や支援員の要件なども確定しているわけではなく、国からの財政的

な保障も不十分で、ましてやどれだけ配置できるかも「財政部局に予算要求していく、すべてこれから進めていくというところになっている」(市教委保護者説明会)という段階です。

### 具体的な形や実績を示して、保護者、現場教職員の理解を得ることこそ

市教委は、保護者説明会で「支援学級については、付き添い指導も週15時間程度に含む」と示すなど、一定の変化も見られます。

しかし、保護者にとっては、確実な制度の形、人的配置、教育条件が見通せないままで、選択を迫られること自身に、「納得できていない」ことは確かです。

市教委の他の事業でも、提案から試行、検証を経て全面的な実施は当たり前の進め方です。

来年から一気に選択、変更ではなく、現状の取り組みをベースにしなが、具体的な形や実績を示しながら、現場の教職員や保護者の理解、合意を得て行くことこそ重要です。

## 教員免許更新制廃止、新研修制度の指針(ガイドライン)案を提示 職務命令や処分で強制、研修成果をテスト!?

文科省は、7/1に教員免許更新制を廃止しました。失効免許、休眠免許も申請によって復活できるようになります。しかし、廃止後の新研修制度のガイドライン改正案を文科省が公表。その中身は、ここまで上からがんじがらめに管理統制されるのかと思わせるような内容になっています。

### 2016年の改定で、教職員研修の指標・計画を国・委員会が策定に

教員研修、教員養成については、すでに2016年に一部の改悪が行われています。

教員研修の内容は文科大臣が指針を決め、教育委員会がこれにもとづいて教職員が向上させるべき資質能力の研修指標、研修計画を作成するという内容です。

文科省が2017年に策定した研修指針(ガイドライン)では、七つの観点から、でカバーすべき資質能力向上の内容を定め、各教育委員会で指標を策定しています。

### 国の指針(ガイドライン)が大幅拡大、教員の「自主研修」までも記録管理!?

今回の改正案では、指針(ガイドライン)の文書が8ページから21ページに大幅に増加。国は、5つの資質能力、についてさらに17に細分化した内容をあげて、研修の指針、研修計画を作成するように求めています。

教員の研修はデータベースに記録管理していくとされており、その記録範囲も、教育委員会の研修のみならず、「校内研修」「教員の自主的な研修」まで記録、管理され用としています。

研修の内容を細部にまで国が管理・統制して、教育委員会にチェックさせながら上が望む研修を進めさせようとするものです。

現場の教職員が、目の前の子どもの実態や切実な思いをもとに、直面する課題に対して、研修を深め、授業や教育の力を向上させるのではなく、上から下ろされた、現場の実態とかみ合わない内容が教職員に押しつけられ法規、法令で研修内容、計画で研修させることは、教員の授業、教育力の向上に繋がるとは言えません。

### 免許更新制=失策も、誰も責任とらない!同じ過ちを、繰り返すべきではない。

教員免許更新制は、安倍元首相が主導して、文科省や教育委員会、現場の教職員の批判や反対を押し切って強行してきました。

その結果、現場の疲弊、深刻な教員不足、教員志望者の大幅減少にもつながった上、複雑な仕組みから更新忘れ、申請ミスで多くの免許失効=失職者を生み出してきました。

その失策の責任を誰も足らずに、新たな現場の困難を拡大するような過ちを繰り返すべきではありません。文科省はガイドライン案のパブコメを7/29まで実施しています。意見を集中しましょう。

ガイドラインパブコメ QRコード ⇒



# 第7回北河内 サマーフェスタ

8月27日(土) 13:30~

枚方市総合文化芸術センター別館(旧メセナひらかた)

全体会 講演「子どもたちと暮らす日々で、大切にしたいこと」

講師 大瀬良 篤さん(高槻市小学校教諭)

分科会 ① 小学校クラスづくり 寝屋川市からの報告

② ICT教育について 枚方市からの報告

③ 支援教育について 山林 哲さん(大教組障害児教育部 大阪市小学校支援担任)

参加費 500円 どなたでも参加出来ます。当日参加OK

主催 北河内サマーフェスタ実行委員会 問い合わせは枚方教組まで

※ 感染状況により、オンライン開催などへの変更もあります。

# 教育のつとめ 教育研究全国集会

## 2022 in 高知

8月18日(木)・19日(金)・20日(土)・21日(日)

8月18日(木)

開会全体集会 19:00~20:45 / オンライン配信

●講演: 田中 優子さん

## 多様性を包み込む社会へ

なぜダイバーシティが必要なのかを、戦争の回避や弾圧、差別などの関係からお話しされます。さらに、女性の生き方の課題や、憲法をどう考えるかについてもお話しさせていただきます。



田中優子さんのプロフィール

1952年神奈川県横浜市生まれ。江戸文学・江戸文化研究者。2014年から2021年まで法政大学総長。退任後は法政大学名誉教授。著書に、「江戸の想像力」、「江戸百夢」、共著に「そろそろ「社会運動」の話をしよう」など多数。TBSサンデーモーニングでは、問題の核心をつく発言に信頼が寄せられている。

全体集会のオンライン参加その他については、枚方教組ホームページをご覧ください。

## 第3回まなび庵 中止のお知らせ

7月22日17:30~組合事務所で開催予定の「やってみよう! タブレットを使った授業づくり、業務改善」は、主催者側の都合により中止とさせていただきます。

記事の訂正について

6月28日付の「府労組連、夏の交渉への回答」で記載間違いがありましたので訂正いたします。

再任期末手当 × 0.657月 ⇒ ○ 0.675月

# 教育のつとめ大阪

## 豊能ブロック

## 2022

記念講演

## 公教育の危機

一子どものための教育を取り戻そう

講師

鈴木大裕さん

教育研究者・土佐町議会議員

16歳で単身米国に留学。そこでの教育に衝撃を受け、日本の教育改革を志す。2019年に土佐町議会議員選挙当選。教育を通じた町おこしに取り組んでいる。著書「崩壊するアメリカの公教育—日本への警告」(岩波書店)、「自由の危機: 息苦しさの正体」(集英社・共著)など。

歓迎行事 『沖縄とともに』 劇『AI学園』

参加費無料

会場参加は  
要WEB予約  
9月12日まで

# 9月19日

月祝

開会 13:30~ / 開場 13:00

池田市民文化会館アゼリア小ホール&オンライン

※新型コロナウイルス感染拡大によって、オンラインのみの開催となる場合は、9月5日に大阪教職員組合のウェブサイトにてお知らせします。

分科会

あなたのレポートを  
お寄せください。

下記QRコードまたは大阪教職員組合のウェブサイトよりレポートを受け付けています。

○11/12(土) 教科別分科会

○11/19(土) 問題別分科会

【豊中市立大池小学校】 開会いずれも10:00~

アクセス 豊中市本町1-7-12 阪急豊中駅より徒歩5分

【池田市民文化会館アゼリア小ホール】 池田市天神1-7-1  
アクセス 阪急宝塚線 石橋阪大前駅西出口より徒歩約8分



○会場参加ご予約

○オンライン視聴 [はこちら](#)

○レポート提出

<http://www.daikyoso.net/>

▶検索【大阪教職員組合】



主催・お問い合わせ

教育のつとめ大阪2022実行委員会 大阪市天王寺区東高津町7-11たかつガーデン706大阪教職員組合内  
TEL: 06-6768-2330 FAX: 06-6768-2239 E-mail: daikyoso@daikyoso.jp

全教(全日本教職員組合)の枚方教職員組合のニュースです 枚方教組に加入して学校や働き方を変えていきましょう